

市政に関する地域座談会実施報告書

| | |
|---|------------------------------------|
| 開催日時 | 平成 28 年 5 月 23 日（月）午後 7 時 30 分～9 時 |
| 会場 | 本楯公民館 |
| 地域座談会の内容 | |
| <p>① 市内には高速道路のインターチェンジが 2 つあるが、スマートインター付近が発展し、寒河江インターの方は発展していないように思う。今後どのような計画を考えているのか。</p> <p>→ 寒河江インター付近については、企業のニーズ調査をして、今後検討していきたいと考えております。</p> | |
| <p>② 市内循環バスのルートで、北部ルートに市役所がないのはなぜか。</p> <p>→ 全部を循環すると時間がかかるため、北部ルート・南部ルートに分けております。11 月 30 日まで実証実験運行でありますので、その後については、各町会長等に意見をお聞きしながら進めてまいりたいと考えております。</p> | |
| <p>③ 市の保育園は、4 月からでないと入園できないのか。転入してきた時点で柔軟に対処できないのか。</p> <p>→ 4 月からでないと入園できないということはありませんが、空きがない場合は要望する保育園とならないこともあります。今後待機児童がないように、にしね保育所の定員増を今後検討してまいります。</p> | |
| <p>④ 防犯灯の LED 化に何年かかるのか。</p> <p>→ 平成 23 年から 5 年計画で実施し、今年度で全て完了する予定です。本楯地区は、54 基あり平成 26 年度 17 基、平成 27 年度 17 基交換しており、残りの 20 基を今年度実施します。</p> | |
| <p>⑤ 防災行政無線は市内で何基あるのか。また、決まっている時間でのメロディーとなっているのか。</p> <p>→ 64 基設置しております。冬場は夕方 5 時で、夏場は 6 時としています。また、防災行政無線の活用法等については、検討会を年 1 回開催しながら進めておりますが、アナウンスは災害だけにすることを決めております。</p> | |
| <p>⑥ 防災行政無線は必要だが、近くの家では音が高くて困っている。ボリュームを下げてもらいたい。</p> <p>→ 現場を確認させていただきます。スピーカーの角度を変えるなどで、少しでも迷</p> | |

惑が掛からないようにしていきたいと思えます。

⑦ 国道 112 号交差点及び県道天童大江線交差点の信号機に右折信号がないため本橋地区から出るのに時間がかかる。右折信号機の設置を検討してもらいたい。

→ 市に要望書の提出をお願いします。

⑧ 本橋地区の道路が狭い。バイパス的な道路を考えてもらいたい。

→ 前回の座談会でも出ておりますが、市全体の狭い道や新しい道路についても都市計画マスタープラン等で検討しております。その検討結果を参考に今後計画してまいります。

⑨ 本橋地区の都市計画道路（そば店～お寺）は、まだ計画路線となっているのか。今後どのように考えているのか。

→ 現在も計画路線となっております。都市計画マスタープランの見直しを実施しており、今後の各都市計画道路の必要性等も含めて検討しております。その結果を見て今後どうするか決めてまいりたいと考えております。

⑩ 市の水道料金は他市町と比べてどのようになっているのか。

→ 県内では高くもなく、安くもない状況です。平成 30 年度に村山広域水道料金の改定予定ですので、料金改定をして下げてまいりたいと考えております。消費税増税分もカバーできるような料金を設定し、市民の方も負担が無くて済むように考えております。

⑪ 下水道料金は水道料金と連動していないと思うが、下水道料金も安くなるという期待感を持ってもいいのか。

→ 水道料金と下水道料金の決め方が違うので、下水道料金も安くなるということにはなりません。水道は企業会計で実施しており、下水道は特別会計で実施しております。近い将来、同じ会計制度にし分かりやすくしていくことを検討しております。

⑫ 簡易水道を使っている人は、何件ぐらいあるのか。

→ 簡易水道は、幸生地区と田代地区の 2 か所で 100 件以上です。

⑬ 市では、空き家の状況を把握しているのか。

→ 市内の空き家については、平成 27 年度町会長等の協力で空き家の調査をしております。259 件の空き家を把握しておりますが、外見の良い状態の空き家が 59 件ございました。空き家バンクに登録していただき、住みたい人へ PR していきたいと

思っております。昨年は1件の売買が成立しております。若い人たちから、空き家バンクを利用していただき、低資金で住んでいただけるような制度にしていきたいと思います。

⑭ さくらんぼ農家に対する補助金について、面積等の要件があるので兼業農家でも対象となるような補助を考えてもらいたい。

→ 使いやすい補助制度となるように研究してまいります。国・県の補助金は制約があるかもしれませんが、市単独の補助についてはできるだけ使いやすいものになるよう努力してまいります。